

「新型コロナ感染症に係る個人情報の取扱い」に関するアンケート調査報告書

個人情報保護委員会

1 はじめに

新型コロナ感染症(COVID-19)はいまだ予断を許さない状況にあり、医療提供体制の維持が社会的な関心事である。新型コロナウイルス感染症パンデミックは、医療提供以外にも、未経験の多くの課題を突きつけている。例えば、患者の個人情報保護は、感染拡大防止のためのサーベイランスを時に困難にする。具体的な対応は、明確な形で指針などが示されず、病院は個別に対処しているのが現状である。全日病は医療にかかわる認定個人情報保護団体として、現状と課題を明らかにして、解決を図ることが、社会的な責務であるとの認識の下、会員病院を対象にアンケート調査を実施した。

2 調査結果の概要

対象は、全日病会員病院であり、2021年9月に無記名式アンケート調査票をメールにより送付・回収した。回収率は、16.0% (407/2536) である。以下の集計では、特に示さない限り分母を407として、無回答を含めた%を示す。

(1) 職員からの検査結果・ワクチン接種についての情報収集

病院が、職員にPCR・抗原検査歴の情報提供の要請は、よい77.6%、状況により許容される19.9%、実際に結果を把握しているのは、全職員の結果が78.4%、一部職員が13.8%であった。結果を把握している場合に、その結果にアクセスできる職員を定めているのは72.7%であった (n=384)。

(2) 職員へのワクチン接種の勧奨

病院が、職員へのワクチン接種情報提供の要請は、よい75.2%、状況により許される16.5%であった。職員へのワクチン接種推奨は81.8%、指示は22.9%が「よい」であった。また、ワクチン接種を希望しない場合の理由の聴取は70.5%が「よい」であった。ワクチン接種を希望しない理由で適切と考える内容は、主治医との相談94.6%、ポリエチレングリコールにアレルギー93.1%、インフルエンザワクチンでアナフィラキシーの既往80.3%、その他のアレルギー77.9%、妊娠中・妊娠予定62.2%、長期の影響が不明59.7%、副反応が怖い59.0%、家族との相談55.8%、基礎疾患がある53.3%の順であった(複数回答可)。ワクチンを接種しないことを理由とした職員の処遇は、患者に直接接触する部署からの配置転換27.0%、ボーナス査定など金銭的不利益1.0%、解雇0.0%が、それぞれ「可能である」であった。

ワクチン接種歴、新型コロナ感染症の既往を根拠にした職場配置は、コロナ病棟45.0%、

発熱外来 44.2%、救急外来 39.3%、ICU/CCU37.8%が、それぞれ「可能である」であった。

(3) 職員のワクチン接種状況への問い合わせ

患者から、個別の職員のワクチン接種状況を聞かれた際は、接種済みの場合は、知らせる 15.7%、回答できない(と答える) 72.0%、未接種の場合は、知らせる 7.6%、回答できない 77.9%であった。また、職員全般の接種状況は、知らせる 35.4%、回答できない 52.1%であった。

職員から聞かれた際には、個別の職員のワクチン接種状況は、接種済みの場合は、知らせる 21.6%、回答できない 65.1%、未接種の場合は、知らせる 16.7%、回答できない 68.3%であった。また、職員全般の接種状況は、知らせる 51.4%、回答できない 36.9%であった。

(4) 職員・家族からの健康情報等の情報収集

職員への健康情報(発熱、自覚症状等)の提供要請は、よい 91.6%、状況により許容される 8.1%(以下、同順)、同居家族の体調不良・渡航など感染リスクが想定される事項の報告 86.7%、11.8%、同居家族の健康情報 52.1%、34.9%、職員の会食・旅行の報告 48.4%、38.1%、同居家族の会食・旅行の報告 32.2%、37.8%であった。

(5) 職員等への行動制限

職員の会食・旅行は、状況により一定の制限は許される 40.5%、注意喚起は許される 58.5%であった。職員の同居家族については、それぞれ 17.2%、70.8%であった。

(6) 患者情報の保健所への提供

患者の行動歴を保健所へ提供する際の本人の同意は、33.4%が「同意は必要ない」と回答した。また、患者の行動歴から濃厚接触が疑われる人については、34.6%が「同意は必要ない」であった。

(7) 職員名の公表等

職員が感染または濃厚接触の場合に、院内で職員名を公表してよいは 22.1%であり、職員の間い合わせには、知らせる 17.4%、回答できない(と答える) 64.4%、外部からの間い合わせには、知らせる 1.2%、回答できない 92.9%であった。

(8) 患者・来訪者への情報提供の要請と対応

患者・来訪者に、情報提供を求める内容は、健康情報 98.5%、96.3%(それぞれ患者、来訪者、以下同様)、家族など身近に体調不良者の有無 82.3%、49.4%、最近の会食・旅行の有無 71.3%、40.5%、ワクチン接種歴 78.4%、36.9%、新型コロナウイルス感染の既往 70.5%、33.7%、クラスターが発生した医療機関の受診・訪問 40.5%、22.1%が、よいであった。

得られた情報に基づき、患者の動線を分けるなど異なった対応をする理由は、健康情報 77.6%、家族など身近に体調不良者の有無 62.2%、最近の会食・旅行の有無 45.5%、ワクチン接種歴 38.3%、新型コロナ感染の既往 36.6%、クラスターが発生した医療機関の受診・訪問 44.5%、であった。

来訪者に対して、院内への立ち入りを断る理由は、健康情報 80.6%、家族など身近に体調不良者の有無 58.7%、最近の会食・旅行の有無 36.1%、ワクチン接種歴・新型コロナ感染の既往 17.2%であった。

来訪者が、病院の感染制御上の要請に従わない場合については、マスク着用を拒否では、立ち入りを断ってよい 74.7%、状況により立ち入りを断ってよい 20.8%（以下、同順）、鼻出しマスクに対する注意に従わない場合 61.4%、23.3%、体温測定拒否 78.1%、13.8%、手洗い拒否 81.2%、19.2%、手袋を外すことを拒否 32.4%、21.6%であった。

### 3 おわりに

感染症のパンデミックは、弱者や差別など潜在的な社会の構造をしばしば明らかにすること、また、パンデミックを契機に社会の構造改革が急速に進むこともしばしば経験している。

病院は配慮を要する情報を取り扱うことから、患者や職員の個人情報適切に取り扱う体制構築が求められている。パンデミック時には、事業者として職員に安全な職場環境を提供する義務、当該感染症患者のみでなく、他の疾病で受診する患者を含めて、安全な医療を提供する義務を有する。また、感染拡大防止に対する協力義務を有する。これらは時に相反することがある。感染の脅威は地域、提供する医療内容により異なり、一律な指針の策定は有効性を欠くことがある。今回の調査は個人情報保護の観点から、会員病院の対応を明らかにし、課題を抽出した。今後は、各課題を検討し、実地的な指針を提供するなど、現場の混乱を回避し、円滑な医療提供を確保する方策を検討する必要がある。

なお、今回のアンケート調査は 2021 年 9 月に実施された。第 5 波の後半に当たり、医療機関が新型コロナウイルス患者への対応に追われていた時期である。困難な時期に、調査にご協力いただいた会員病院に深謝申し上げる。

新型コロナウイルス感染症に係る個人情報の取り扱い、感染制御の状況に係るアンケート調査集計結果

1. 調査目的

会員病院における個人情報などの取り扱いの考え方と対応状況を課題とともに取りまとめ、内外に問うこと

2. 調査客体

全日本病院協会全会員病院2,536病院を対象とした。

3. 調査期間

2021年9月2日（木）から9月17日（金）までを調査期間と設定した。

4. 調査票回収状況

回答施設数 407病院

回答率 16.0%

## 1. 個人情報管理

## &lt;PCR・抗原検査&gt;

(Q1) 病院として、PCR・抗原検査を受けたか否かの情報の提供を職員に要請  
(当該情報を利用することを含む) することをどのように考えますか。

- ① よい                      ② 状況により許容される                      ③ 許容されない

	回答数	比率
① よい	316	77.6%
② 状況により許容される	81	19.9%
③ 許容されない	8	2.0%
無回答	2	0.5%

## ② の場合 (具体的にご記入ください)

1・院内感染を防止するためには必要
2・国の補助等による検査実施で重複等の確認が必要となる場合
3・医療従事者として、感染予防、感染拡大防止の役割を担っているということを踏まえ 検査等の結果の証明は必然であるとする。
4・他に感染を広げる可能性がある場合
5・刑事事件関連等は協力する
6・濃厚接触者など就労可否の判断に用いる際に必要である、当該情報は感染制御室及び経営 幹部、所属長に限定され利用されている。
7・拡大防止、対策上必要があれば許容される。
8・必要最低限にとどめる
9・コロナ感染を疑う患者受入れ業務に従事させる判断とするため
10・保健所の連動により決定する
11・院内感染に関係するような事例の際は必要と考える。
12・リスクヘッジのための要請(職場での陽性者発生やコロナ専用病棟勤務の職員対応等)
13・陽性者との濃厚接触等があった場合は、要請する必要がある
14・医療従事者として、感染疑い・濃厚接触者は勤務可能な基準となるので情報提供は必要
15・濃厚接触疑いや、疑い症状がみられている場合など、必要時に要請する
16・職員が陽性者と接触機会があるなど、院内感染対策上、保健所による濃厚接触か否かの 判定よりも先に病院側から検査を受けるよう指示した場合。(保健所判定が遅れている という背景がある)
17・院内外の検査の結果を院内感染対策に利用することは、病院職員と患者の生命を守る ために必要なことなので、実際に感染症の広がりが疑われる際には許容されると考える。
18・感染予防に資するため、限定された管理者が要請することは許容されると考える。
19・院内でクラスターが発生した場合、当該部署に従事する職員のみ
20・報告義務はないので自己申告のみ
21・管理者レベルでの情報共有に限る事、氏名の公表はしないことが原則で、公表時は本人 の許可を得る
22・クラスター発生等診療に影響する場合
23・県外移動や会食をした場合、家族などに濃厚接触者が出た場合。
24・病院がクラスターとなったときには許容される
25・具体性を求めて認める。(案内文・説明書等)
26・同居家族に感染者や濃厚接触者が発生した場合
27・職員が風邪症状がある時や、解熱後に勤務をする際、検査を受けて陰性を確認してから 勤務にあたる場合
28・個人の事前同意を要する。
29・院内感染対策として必要な時のみ
30・院内検査分はすべて把握している。他院での検査結果は自己申告

(Q1-2) 病院として、職員がPCR・抗原検査を受けたか否かを把握していますか。

- ① している（常勤・非常勤、職場を問わず全職員に） ② している（一部職員に限定して）  
③ していない

	回答数	比率
① している（常勤・非常勤、職場を問わず全職員に）	319	78.4%
② している	56	13.8%
③ 許容されない	29	7.1%
無回答	3	0.7%

② の場合（具体的にご記入ください）

1・本人の承諾があれば提供してもらう。
2・自院での検査及び職員の自己申請により
3・非常勤医師を除き把握している
4・職員保健室が管理（産業医、保健師）
5・基本的にはしているが、全ては把握出来ていない可能性がある。報告義務とはしていない。
6・報告が無い場合わからない
7・濃厚接触者など就労可否の判断に用いる際に必要である、当該情報は経営幹部、所属長に限定され利用されている。
8・管理者、検査科、外来師長
9・常勤、常駐（業者）のみ対象
10・発熱者、常非常勤医師、外来看護師、特に希望する職員
11・感染リスクが考えられる場合
12・院内感染対策上、必要とする場合があるため。
13・本人が申告しない場合、把握できないこともあるのではないかと思う
14・非常勤医については不明、自ら報告してくれる事はある。
15・自院で検査しておりその半分は把握している。
16・発熱等の症状がある職員のみ
17・院内で実施した検査については把握している。
18・当該職員から陽性または濃厚接触者と申告があった場合は、就業制限を行うために把握
19・陽性者との接触、濃厚接触に限り一部把握している
20・非常勤医師以外
21・非常勤職員の一部については、把握していない。
22・職員が陽性者と接触機会があるなど、院内感染対策上、保健所による濃厚接触か否かの判定よりも先に病院側から検査を受けるよう指示した場合のように病院側から検査を受けるよう指示した職員に対してのみ。
23・院内で実施した場合。又、外部受診した場合は自己申告。
24・職員・患者に症状がある場合、管轄所属長に報告。ICT、ICDの判断によりPCR、抗原検査を実施するマニュアルがある。その為対象となった職員患者の検査実施状況及び結果は把握している。
25・感染担当者のみ
26・看護部は職員から報告を受け把握している
27・感染の可能性があった場合、基本、報告する事としている。非常勤は把握出来ていない。
28・県外研修の参加、県外移動をした場合。
29・職員が風邪症状がある時や、解熱後に勤務をする際、検査を受けて陰性を確認してから勤務にあたる場合の該当者のみ
30・法人として行政の求めに応じる等で必要と判断した職員に対する検査を実施した場合。
31・職員家族では積極的に自院内で検査するよう勧奨している

(Q2) 病院として、PCR・抗原検査の結果の提供を職員に要請（職場で検査した場合には、当該情報を利用することを含む）することをどのように考えますか。

- ① よい ② 状況により許容される ③ 許容されない

	回答数	比率
① よい	333	81.8%
② 状況により許容される	63	15.5%
③ 許容されない	7	1.7%
無回答	4	1.0%

② の場合（具体的にご記入ください）

1・院内感染を防止するためには必要
2・国の補助を受けて実施している検査については事務長あてに結果が報告される
3・本人の承諾のもとで
4・業務の継続性を判断するための情報であり、社会的使命を負った病院職員は協力すべき。
5・職員の健康のため、院内クラスターを防ぐ必要
6・他に感染を広げる可能性がある場合
7・濃厚接触者など就労可否の判断に用いる際に必要である、当該情報は経営幹部、所属長に限定され利用されている。
8・職員が、陽性であった場合には周囲に与える影響が大きいため、結果の提供は重要
9・会議時に情報提供、共有している。担当者が管理職等特定の者。
10・院内感染対策上、必要とする場合があるため。
11・必要最低限にとどめる
12・保健所の運動により決定する
13・院内感染や勤務にかかわらない個人的受検で、陰性の場合は、結果の提供は、不要。
14・職員が陽性者と接触機会があるなど、院内感染対策上、保健所による濃厚接触か否かの判定よりも先に病院側から検査を受けるよう指示した場合のように病院側から検査を受けるよう指示した職員に対してのみ。
15・患者・職員で陽性者が出た場合、院内クラスターが対策としてICTが濃厚接触者を調査することがマニュアル整備されており実施されている。
16・管理者レベルでの情報共有に限る事、氏名の公表はしないことが原則で、公表時は本人の許可を得る
17・同居家族に感染者や濃厚接触者が発生した場合
18・職場配置を許可する判断材料として必要と考える。

(Q2-2) 病院として、職員のPCR・抗原検査の結果を把握していますか。

- ① している（常勤・非常勤、職場を問わず全職員に） ② している（一部職員に限定して）  
③ していない

	回答数	比率
① している（常勤・非常勤、職場を問わず全職員に）	328	80.6%
② している（一部職員に限定して）	56	13.8%
③ していない	23	5.7%
無回答	0	0.0%

② の場合（具体的にご記入ください）

1・本人の同意があれば
2・自院での検査及び職員の自主的な報告により
3・非常勤医師を除き把握している
4・職員保健室が管理（産業医、保健師）
5・基本的にはしているが、全ては把握出来ない可能性がある。報告義務とはしていない。
6・濃厚接触者など就労可否の判断に用いる際に必要である、当該情報は経営幹部、所属長に限定され利用されている。
7・常勤、常駐（業者）のみ
8・院内感染対策上、必要とする場合があるため。
9・本人が申告しない場合、把握できないこともあるのではないかと思う
10・院内で実施した検査結果については把握している。
11・当該職員から陽性または濃厚接触者と申告があった場合は、就業制限を行うために把握
12・直接雇用している常勤、非常勤職員
13・職員が陽性者と接触機会があるなど、院内感染対策上、保健所による濃厚接触か否かの判定よりも先に病院側から検査を受けるよう指示した職員に対してのみ。
14・院内で実施した場合。又、外部受診した場合は自己申告。
15・常勤職員すべて、非常勤については患者と直接に身体接触する職種の者
16・院内感染拡大防止のため必要なときは把握する。
17・職員・患者に症状がある場合、管轄所属長に報告。ICT、ICDの判断によりPCR、抗原検査を実施するマニュアルがある。その為対象となった職員患者の検査実施状況及び結果は把握している。
18・報告・連絡・相談があった場合に把握している。
19・自施設を受診した場合には、臨床検査課で把握されている
20・移動（感染の可能性）により把握
21・職員が風邪症状がある時や、解熱後に勤務をする際、検査を受けて陰性を確認してから勤務にあたる場合の該当者のみ
22・法人として行政の求めに応じる等で必要と判断した職員に対する検査を実施した場合。

(Q2-3) (Q2-2 で①②の場合) PCR・抗原検査の結果を見てよい人・立場は決まっていますか。

① 決まっている ② 決まっていない

	回答数	比率
① 決まっている	280	68.8%
② 決まっていない	112	27.5%
無回答	15	3.7%

① の場合 (具体的にご記入ください)

1・感染制御部部長、病院管理部
2・院長を含む管理者
3・感染管理室など限定職員
4・必ず当院を媒体とし担当者が院長へ報告
5・一部管理、ICT
6・理事長、院長、看護部長、事務長
7・院内感染対策委員会委員
8・各部署の責任者以上で共有
9・看護統括部、健康管理担当、検査部、医師、事務長
10・ICD担当Dr、感染制御室のスタッフ
11・医師、師長
12・産業、保健師
13・臨床検査技師、内科医師
14・陽性報告を受けるひと (ICD, ICN)
15・部署長以上
16・主治医、病院長、事務長、検査技師、感染管理者、HER-SYS入力者
17・全職員
18・会議時に情報提供、共有している。担当者が管理職等特定の者。
19・新型コロナ対策委員メンバー
20・病院長を含めた感染対策チーム、発熱外来スタッフ等
21・COVID本部会議メンバー
22・感染防止対策室 (主にICT)
23・部署長・施設長・院長・感染対策感染者・COVID-19対策室委員
24・基本的には本人の口頭報告のみ。但し、結果を見る権限は病院管理部と管理部に報告を要する当該職員の所属長。
25・コロナ対策関係者である特定の職員のみ結果にアクセスできる。
26・関係部署のみとしているが、誰でもアクセスはできる状況
27・経営層、感染専従、当該部門の管理職、祝日と土日は管理当直者
28・業務に関係の無いカルテ閲覧は行わないルールとなっている。

(Q2-4) (Q2-2 で①②の場合) 職員から、濃厚接触・接触者になるかわからないので、同僚のPCR・抗原検査の結果を知りたいと聞かれたら、どのように回答しますか。

<陽性の場合>

- ① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	166	40.8%
② 回答できない、と答える	127	31.2%
③ その他	96	23.6%
無回答	18	4.4%

③ の場合 (具体的にご記入ください)

1・個人情報保護と院内感染防止の観点から本人の同意のもと接触の可能性のある職員に慎重に知らせる。
2・この種の情報は、院長宛での報告となっており、院長が陽性者の発生を院内に周知する。
3・個人的には回答できないが、濃厚接触者判定を踏まえ病院側から報告します。
4・感染委員会に煽る
5・臨機応変に対応
6・医師の判断で周知する
7・濃厚接触者と確定した場合は知らせる
8・検査をしたスタッフが問い合わせをしてきたスタッフと同じ部署であるため、の濃厚接触者にあたる恐れがある場合
9・職員に陽性者がでた場合には、病院が濃厚接触の有無の調査に動く
10・役員へ情報提供可否を伺う
11・本人の了解があれば可
12・部署責任者へ伝達していると伝える
13・濃厚接触者の場合は保健所指示に従い自宅待機。接触者は病院指示でPCRを行い、結果が出るまで欠勤指示をしている。
14・職場長より濃厚接触者に該当する職員へ伝達
15・状況によって対応は異なるものの、濃厚接触者に該当する職員には個別に伝える。
16・濃厚接触者と断定できる場合(判断は院長が行うが)は結果を伝える。そうでなければ伝えない。
17・問い合わせ前に濃厚接触者か否か結果はこちらから伝える。
18・当法人に追跡調査をした結果を伝えている。
19・感染担当医とICNと所属長で状況を確認しお伝えすることに医学的な妥当性があれば回答すると思う。
20・陽性が出たら必ず全職員に知らせています。濃厚接触者の吸い出しも行うし、職場全員スクリーニング検査をしています。
21・陰性の場合はHpとして一斉検査します。(全職員)
22・保健所の指示のもと対応する
23・院長と相談してきめる、
24・院内で定着している濃厚接触者に該当している場合のみ知らせる。
25・その人が濃厚接触者になるか否かは病院が判断する
26・濃厚接触者は感染対策か部署管理者から直接伝える。
27・職員から陽性者が出た場合、感染対策室が濃厚接触者の改定に入るため、その以外は対策としないためそれ以外は個人データの公表はない
28・所属長から説明がある。濃厚接触者又は接触者は状況により判断する。
29・濃厚接触該当者には病院から個別に連絡している旨回答している。
30・濃厚接触に該当するかどうかの判断を含め、発生時の情報は感染対策室で管理している。個人情報を含む濃厚接触者情報は、該当部署・該当部門責任者までの提供としている。その他へは個人情報を含まない概要を共有している。
31・職員の陽性者は院長が把握しており、濃厚接触者の判定をしている。
32・濃厚接触に該当すると保健所で確認が取れた職員には回答する
33・陽性になった場合、勤務状況により関係部署のスクリーニング検査を実施するため必然的にわかる。その他の職員に答えることはしていない。
34・部所長が把握しており、濃厚接触等の判断、検査指示を院内感染対策委員会が行う。個別の対応は行わない。
35・保健所の指示があるまで待つよう伝える
36・対象の同僚職員の了解をとったうえで知らせる(承諾していただく)
37・職員で濃厚接触者の可能性ありなら、院内で必ずPCRを施行する。

38	濃厚接触、接触者であるとICTが判断していれば、検査実施依頼がきているのでICT確認後依頼がきていないのであれば対象ではないので、引き続き感染対策を努める様伝える。
39	所属長が体調不良者、職場の状況を把握しているので、想定していない
40	管理者が必要と判断した場合、聞いてきた職員にPCR, 抗原検査を要請します、したがって、その場で回答することはありません。
41	本人に聞いていただくように伝える
42	病院としての対応が決まり次第各自へ周知する。
43	職員がPCRをおこなった時点で接触者リストを作成し、結果判明次第対象者に通知している。
44	陽性者は出ていないが、こちらから聞き取りをする予定
45	この想定が起こらないよう、関係職員への積極的疫学調査を実施し、結果を知らせる。
46	病院のコロナ会議で審議する
47	濃厚接触者、接触者には伝える必要が有ると考える。
48	検査を行った職員のプライバシーにも配慮が必要であるため、個々の状況に応じて役職者により検討して回答する
49	個別には開示しないと回答。対応が必要あれば説明するとしています。
50	濃厚接触者となるかどうかは、保健所もしくは感染対策室より連絡するので、それまで待機すること。
51	聞かれる前に公開（院内）している。ロッカールーム等で他部署でも接触があるため。
52	当院の運営会議で情報公開について審議を行った上で、本人の了解を得て対応を行います。
53	PCR陽性となった職員から同意が得られれば伝える。業務で濃厚接触と判定されたら同意の有無に関わらず伝える。

## &lt;陰性の場合&gt;

- ① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	196	48.2%
② 回答できない、と答える	117	28.7%
③ その他	71	17.4%
無回答	23	5.7%

## ③ の場合 (具体的にご記入ください)

1・院内の陽性者の発生情報が周知されれば、陰性の旨の情報は要らない。
2・個人的には回答できないが、濃厚接触者判定を踏まえ病院側から報告します。
3・濃厚接触者と確定した場合は知らせる
4・検査をしたスタッフが問い合わせをしてきたスタッフと同じ部署であるため、の濃厚接触者にあたる恐れがある場合
5・濃厚接触者になるか否かの病院判断結果を伝える
6・部署長に伝える
7・濃厚接触者と断定できる場合(判断は院長が行うが)は結果を伝える。そうでなければ伝えない。
8・同じ部署の人
9・本人の同意を確認し対応
10・当法人に追跡調査をした結果を伝えている。
11・感染対策上、必要とする場合のみ。
12・ICTへ相談
13・感染担当医とICNと所属長で状況を確認しお伝えすることに医学的な妥当性があれば回答すると思う。
14・管理職間で情報共有。全体には通知しない
15・濃厚接触者は感染対策か部署管理者から直接伝える。
16・個人の質問には回答しません。
17・前項のとおり、濃厚接触者には個別に連絡しているが、陰性の場合には特に連絡はしない。
18・濃厚接触になるか否か状況確認し、回答する
19・所属長・感染管理室員で協議する
20・聞いた本人に必要と判断した場合は伝える。
21・濃厚接触に該当するかどうかの判断を含め、発生時の情報は感染対策室で管理している。個人情報を含む濃厚接触者情報は、該当部署・該当部門責任者までの提供としている。その他へは個人情報を含まない概要を共有している。
22・濃厚接触者か否かの判断は当該職員及び保健所の判断を元に通知する
23・知らないと答える
24・職場に影響がある場合は、本人の了承を得て知らせる
25・対象の同僚職員の了解をとったうえで知らせる(承諾していただく)
26・接触者には知らせる
27・濃厚接触、接触者であるとICTが判断していれば、検査実施依頼がきているのでICT確認後依頼がきていないのであれば対象ではないので、引き続き感染対策を努める様伝える。
28・病院としての対応が決まり次第各自へ周知する。
29・この想定が起こらないよう、関係職員への事実経過は説明する。
30・ケースバイケース
31・病院のコロナ会議で審議する
32・個人情報保護の観点から質問者が濃厚接触に該当するかのみ答える
33・疑似症者が陰性の場合も前項と同様、その結果をもって指示する。
34・病院で広めに対象者を調べているため、声がかからなければ、接触者に該当しない
35・濃厚接触者は保健所指導・ICT判断を以て確定し、本人に伝えている。
36・聞かれる前に公開(院内)している。ロッカールーム等で他部署でも接触があるため。
37・当院の運営会議で情報公開について審議を行った上で、本人の了解を得て対応を行います。
38・PCR陽性となった職員から同意が得られれば伝える。業務で濃厚接触と判定されたら同意の有無に関わらず伝える。

## &lt;ワクチン&gt;

(Q3) ワクチン接種を受けたか否かの情報の提供を職員に要請（職場で接種した場合には、当該情報を利用することを含む）することをどのように考えますか。

- ① よい                      ② 状況により許容される                      ③ 許容されない

	回答数	比率
① よい	306	75.2%
② 状況により許容される	67	16.5%
③ その他	32	7.9%
無回答	2	0.5%

## ② の場合（具体的にご記入ください）

1・新入職員の場合
2・院内感染・自身のコロナ発症時など有事の際は対策・対応を行う際に接種の有無は必要な情報であるため
3・院内で医療従事者向け職員のワクチン接種を実施しており、未接種者は把握できる。強制接種はできないが、「自身・職場を守る」観点から協力要請はできる。
4・陽性者が発生した場合
5・コロナ病棟で働くかの有無
6・本人の承諾がある場合
7・感染の可能性の高低をしるため
8・行う処置により必要な場合がある
9・コロナ病棟で働くかの有無陽性の判定を受けた時
10・感染対策上、必要とする場合のみ。
11・職場（の管理者）としては許容される。職員からの要請は許容されない。
12・全職員にワクチン接種している。
13・法人（院）内接種の場合は、接種の有無は把握出来るが、院外については特に聞き取りなどは行わない。
14・リスクヘッジのための要請（職場での陽性者発生や、コロナ専用病棟職員対応など）
15・コロナウイルス感染者を担当する場合や、コロナ陽性者、濃厚接触者と接触した際の勤務について検討する際に参考とする。
16・管理職及び担当事務員は現状把握のため
17・職員が陽性者と接触機会があるなど、院内感染対策上、保健所による濃厚接触か否かの判定よりも先に病院として当該職員が勤務可能あるいは一定期間の自宅待機を要するかの判断材料とする場合。結果、濃厚接触ではなかったとしても独自対策で自宅待機を指示することもある。
18・医師の判断でアレルギーや疾患が理由で接種出来ない場合
19・コロナ専門病棟で働くスタッフ
20・コロナ陽性者の診療をする部署や直接対応する可能性のある場所に配置しないなどの配慮ができる。結果的にその個人を守ることにつながる。
21・院内クラスター対策のため、PCR検査の実施対象となった職員はワクチン接種情報も確認している。情報はICT、所属長で共有している。
22・基本的に自院で摂取しているので既に把握しており、ロス対策などに有効的に情報を活用している。利用の範囲が示されれば良いのでは。

(Q3-2) 病院として、職員がワクチン接種を受けたか否かを把握していますか。

- ① している（常勤・非常勤、職場を問わず全職員に） ② している（一部職員に限定して）  
③ していない

	回答数	比率
① よい	350	86.0%
② 状況により許容される	49	12.0%
③ その他	7	1.7%
無回答	1	0.2%

② の場合（具体的にご記入ください）

1・院内にてワクチン接種副反応等症状調査を施行した際に把握
2・部門長により把握
3・管理職以上
4・非常勤医師に関しては把握していない
5・職員保健室が管理（産業医、保健師）
6・病院で接種した方に対してのみ
7・常勤職員のみ
8・非常勤医師には必ずしも確認していない
9・当院で受けた人はわかるのでいちいちリスト化しない。
10・法人（院）内接種の場合は、接種の有無は把握出来るが、院外については特に聞き取りなどは行わない。
11・接種自体は自己判断としているため完全管理はしていないが、勤務調整の必要性から接種する際には基本的に日程を上長と相談してもらうこととしている
12・職場で何割くらい接種したのかは把握している。個別管理はしていない。
13・医療従事者優先接種枠での接種を見送ったのちに、個人的に自治体等の接種を受けていた場合に接種を受けていたことを見落とす場合あり。
14・非常勤の医師等には全員の確認は出来ていない。
15・全職員に任意のアンケート形式で接種状況を確認しています
16・医師非常勤職員は把握していない
17・ワクチン担当者は把握している
18・接種状況を調査した際回答してくれた職員のみ
19・管理者のみ（理事長、院長、看護部長、薬局長）
20・当院で施行した場合
21・不定期で訪れる非常勤医師に関しては把握していない事もある。
22・当院で接種した者についてはリストがある
23・院内で接種を受けた職員、また接種済書（写し）を提出した職員に限り把握している
24・院内で接種した者はすべて、院外で接種した者は自己申告

(Q4) 患者から、職員のワクチン接種歴（既往歴を含む）を教えてくださいと要請された場合には、どのように対応しますか。

<個別の担当職員に関して>

i 接種済の場合

① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	64	15.7%
② 回答できない、と答える	293	72.0%
③ その他	49	12.0%
無回答	1	0.2%

③ の場合（具体的にご記入ください）

1・ケースバイケース
2・患者と職員との交差状況を把握し、患者の不安を払拭できるように情報提供する。
3・院長と相談のうえ考える。
4・当院では病院全職員が接種済なのでその旨を説明する
5・状況に応じて（患者からどうして情報が必要科理由を確認する）
6・摂取者のみ通知
7・本人確認が出来た場合、予約センターへ依頼
8・濃厚接触による感染の拡大が危惧される場合は回答する。
9・HPにて公表済
10・取り決めをしていないため、個人の判断と思われる。
11・方針を定めていない
12・PCR検査の指示を出した外科主治医、感染者委員、職場の上司、院長
13・考えていませんでした、今後対策します。
14・基本的には全員接種していると回答する。
15・ほぼ全員接種済とはなし個別には答えない
16・自由接種なので把握してないと伝える
17・個人を公表していないが「病院全体で〇割している」と答える
18・個人の情報は伝えないが、病院の接種率は答える
19・個人的に接種の状況は回答出来ないが、職員全体での接種率等は回答する。
20・本人の承諾あれば伝える
21・原則、回答しないが要請理由により必要ケースは協議検討する。回答する判断となった場合は、本人の承諾を得る事が前提。
22・回答しない
23・答える必要はないと考えている。しっかりと感染対策を行っており、その中で院内感染はしにくいと考えている（濃厚接触者認定されないことも分かってきた）。この事を踏まえ、ご安心して頂けるように説明する。
24・接種済みということだけを知らせるつもりです。患者から尋ねられることは想定しておりません。
25・病院としては職員全員にワクチンを接種してもらいたいと通知している。ワクチンを接種していない職員がごくわずかいるらしいが、正確な数字は把握していない。やむを得ぬ事情でワクチンをしていない職員がいる。感染対策に万全を期して職務に励んでおり、未接種であることをあえて知らせる必要はない。
26・最終的には回答しないが、どうしてそのような質問をしたのかを聞き取り不安の解消に努める

## ii 未接種の場合

- ① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	31	7.6%
② 回答できない、と答える	317	77.9%
③ その他	58	14.3%
無回答	1	0.2%

## ③ の場合 (具体的にご記入ください)

1・ケースバイケース
2・院内感染が発生した場合に接種の有無を確認したいのだけれど、その職員の感染の有無の可能性に言及した方が、患者の不安も払拭できる。
3・院長と相談のうえ考える。
4・当院では病院全職員が接種済なのでこれには該当しない
5・状況に応じて(患者からどうしても情報が必要科理由を確認する)
6・摂取者のみ通知
7・必要に応じて
8・今後、検討
9・濃厚接触による感染の拡大が危惧される場合は回答する。
10・HPにて公表済
11・同意があれば回答する
12・取り決めをしていないため、個人の判断と思われる。
13・方針を定めていない
14・職場上司と情報を共有してから判断し伝える。
15・考えていませんでした、今後対策します。
16・基本的には全員接種が当院の方針と回答する。
17・ほぼ全員接種済とはなし個別には答えない
18・一人一人の話はできないが基本的に全員接触していることは回答する
19・全体の未接種率のみ可能
20・感染対策を十分行っているので心配ないと答える。
21・原則、回答しないが要請理由により必要ケースは協議検討する。回答する判断となった場合は、本人の承諾を得る事が前提。
22・回答しない
23・当院は授乳中や妊娠中、その他、医師の指示以外は全員接種しているが旨説明するが、個別の回答は行わない。
24・要請をうけた事例がなく、検討していない
25・答える必要はないと考えている。しっかりと感染対策を行っており、その中で院内感染はしにくいと考えている(濃厚接触者認定されないことも分かってきた)。この事を踏まえ、ご安心して頂けるように説明する。(病院としてワクチンに対し積極的であり、接種の体制も整っている)
26・接種済みということだけを知らせるつもりです。患者から尋ねられることは想定しておりません。なお、当院は強制はしていませんが、現在のところ全員接種となっています。
27・感染対策に万全を期して職務に励んでおり、未接種であることをあえて知らせる必要はない。
28・都度、協議が必要です。
29・最終的には回答しないが、どうしてもそのような質問をしたのかを聞き取り不安の解消に努める。ワクチンを接種していても感染リスクがなくなるわけではない
30・聞かれた職員の個人情報の為、本人の同意があれば答える。
31・全体の接種率のみを伝え、個別の回答は行わない。

## &lt;職員全般に関して（接種率・未接種者数等）&gt;

- ① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	144	35.4%
② 回答できない、と答える	212	52.1%
③ その他	46	11.3%
無回答	5	1.2%

## ③ の場合（具体的にご記入ください）

1・未接種者は、新入職者や退職予定者とごく限られており、限りなく100%になるように努めていることを説明する。
2・院長と相談のうえ考える。
3・職員は基本的には接種しているが、個別個人単位での回答はしない。接種率等の具体的な数字は知らせない
4・一部未接種の職員がいることは伝えるが氏名などは伝えない
5・接種率は公開している
6・HPにて公表済
7・方針を定めていない
8・どこまでの情報を開示するかは然るべき会議で検討されると思う。
9・職場上司の判断に委ねる。
10・その意図を確認し、妥当と判断したら知らせる。
11・接種率に関しては知らせるが、未接種者に関しては回答出来ないと答える。
12・具体的に数字で出さず、基本的に全員接種していると回答する
13・わざわざ公表しない
14・今後検討
15・職員全般については、体質的に予防接種できない者等を除いて全員接種済みと答える。
16・原則、回答しないが要請理由により必要ケースは協議検討する。回答する判断となった場合は、本人の承諾を得る事が前提。
17・回答しない
18・妥当な理由があれば開示する場合もありうる。
19・当院は授乳中や妊娠中、その他、医師の指示以外は全員接種しているが旨説明するが、個別の回答は行わない。
20・患者からの回答要請については、院内感染対策委員会と協議する
21・濃厚接触、接触者であるとICTが判断していれば、検査実施依頼がきているのでICT確認後依頼がきていないのであれば対象ではないので、引き続き感染対策を努める様伝える。
22・要請をうけた事例がなく、検討していない
23・接種率などは回答しても開示してもよい
24・そのような場面がないので何とも言えない。
25・ケースバイケース
26・開示する目的やその後の情報の使用方法や範囲について明確でない場合や職員の同意が得られない場合は回答できない。
27・必要と認めれば、知らせる
28・必要時コロナ会議で審議する
29・接種を希望しない人数を除いて全職員接種している、などと答える。

(Q5) 職員から、同僚の職員のワクチン接種歴を聞かれたら、どのように回答しますか。

<個別の担当職員に関して>

i 接種済の場合

① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	88	21.6%
② 回答できない、と答える	265	65.1%
③ その他	53	13.0%
無回答	1	0.2%

③ の場合 (具体的にご記入ください)

1・ケースバイケース
2・理由による
3・その手の質問には、「本人」に直接聞くように伝える。ごく一部を除きほぼ全員が接種を受けており、そのような質問はない。
4・定期健診と同等の扱い
5・院長と相談のうえ考える。
6・本人から確認をしてもらいます
7・職員間で情報共有は出来ている
8・管理職のみあ把握で留める
9・必要に応じて対応
10・濃厚接触による感染の拡大が危惧される場合は回答する。
11・HPにて公表済
12・本人の同意を確認後対応
13・当該者の同意を得てから知らせる。
14・方針を定めていない
15・医療従事者優先接種を自院で施工しており、既に全職員が接種の有無を熟知している
16・問い合わせの職員の目的と立場にもよる
17・医療従事者として部門ごと先行接種しているので聞かれることはない
18・基本的には全員接種が当院の方針と回答する。
19・上司に対してのみ
20・全員接種
21・自由接種なので把握してないと伝える
22・院長に確認してから
23・個人的な質問は答えないが、病院内での感染対策上必要な場合は部署アンリ者へ伝える
24・具体的に数字で出さず、基本的に全員接種していると回答する
25・個人の質問には回答できません。
26・感染対策上必要な場合管理者から聞かれた場合には答える
27・聞いてきた理由を確認してから検討
28・本人へ直接聞いて下さいと伝える
29・本人の同意があれば知らせる
30・該当者本人に確認 または、感染対策専門部署の指示を受けるように伝えている。
31・聞かれた事例がなく、検討していない
32・管理者等の役職者のみ必要に応じて。

## ii 未接種の場合

- ① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	68	16.7%
② 回答できない、と答える	278	68.3%
③ その他	58	14.3%
無回答	3	0.7%

## ③ の場合 (具体的にご記入ください)

1・理由による
2・その手の質問には、「本人」に直接聞くように伝える。ごく一部を除きほぼ全員が接種を受けており、そのような質問はない。
3・定期健診と同等の扱い
4・院長と相談のうえ考える。
5・職員間で情報共有は出来ている
6・未接種の職員がいることは伝えるが氏名などは伝えない
7・管理職のみ把握で留める
8・本人確認後知らせる(アレルギーとかあるので)
9・今後、検討
10・必要に応じて対応
11・濃厚接触による感染の拡大が危惧される場合は回答する。
12・HPにて公表済
13・本人の同意を確認後対応
14・当該者の同意を得てから知らせる。
15・方針を定めていない
16・医療従事者優先接種を自院で施工しており、既に全職員が接種の有無を熟知している
17・問い合わせの職員の目的と立場にもよる
18・医療従事者として部門ごと先行接種しているので聞かれることはない
19・基本的には全員接種が当院の方針と回答する。
20・理由による
21・上司に対してのみ
22・自由接種なので把握してないと伝える
23・個人的な質問は答えないが、院内での感染対策上必要な場合は部署アンリ者へ伝える
24・具体的に数字で出さず、基本的に全員接種していると回答する
25・個人の質問には回答できません。
26・原則として個人に対して回答はしないが、部門・部門責任者等職員の管理上必要と判断される場合にのみ回答する。
27・回答しない
28・状況により
29・感染対策上必要な場合管理者から聞かれた場合には答える
30・聞いてきた理由を確認してから検討
31・本人の同意があれば知らせる
32・該当者本人に確認 または、感染対策専門部署の指示を受けるように伝えている。
33・濃厚接触、接触者であるとICTが判断していれば、検査実施依頼がきているのでICT確認後依頼がきていないのであれば対象ではないので、引き続き感染対策を努める様伝える。
34・聞かれた事例がなく、検討していない
35・必要ないと考えている(と説明する)
36・管理者等の役職者のみ必要に応じて。
37・本人に直接確認してもらうように返答する。
38・個別具体的な状況で判断する。
39・感染管理に必要な場合に限る。通常管理職以外は知らせない
40・未接種の根拠が分かれば知らせる。
41・個別具体的に対応
42・聞かれた職員の個人情報の為、本人の同意があれば答える。
43・部署長より説明させる。個人情報は知らせない。
44・通常回答しないが、病棟の人員編成時等必要な時は責任者にのみ回答する。

## &lt;職員全般に関して（接種率・未接種者数等）&gt;

- ① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	209	51.4%
② 回答できない、と答える	150	36.9%
③ その他	46	11.3%
無回答	2	0.5%

## ③ の場合（具体的にご記入ください）

1・定期健診と同等の扱いと委員会に報告
2・院長と相談のうえ考える。
3・100%接種しているが、回答する用意はしていません
4・職員間で情報共有は出来ている
5・接種率は公開している
6・委員会等では発表する
7・濃厚接触による感染の拡大が危惧される場合は回答する。
8・HPにて公表済
9・方針を定めていない
10・その意図を確認し、妥当と判断したら知らせる。
11・基本的には全員接種が当院の方針と回答する。
12・ほぼ全員接種済とはなし個別には答えない
13・上司に対してのみ
14・自由接種なので把握してないと伝える
15・知らせていないが、知らせる事は可能
16・職員全般については、体質的に予防接種できない者等を除いて全員接種済みと答える。
17・回答しない
18・管理職へ知らせている
19・具体的な未接種者の氏名は伝えない。
20・上層部の会議にて情報共有している。
21・ケースバイケース
22・そのようなことを聞く者はいない。他人のことなど関係ない。
23・ケースバイケース
24・部署長には知らせている。
25・敢えての発表はしないが、聞かれた場合は個人の特定が出来るものではないので接種率等は問題無いかと思う。
26・聞いてくる職員はいない。そのことを知ったとしても感染防御の為にしていることに変わりがないため。
27・接種を希望しない人数を除いて全職員接種している、などと答える。

(Q6) 患者の行動歴などの保健所への提供にあたって、患者本人の同意の取得は必要ですか。

- ① 必要である ② 必要ない

	回答数	比率
① 必要である	265	65.1%
② 必要ない	136	33.4%
無回答	6	1.5%

(Q7) 患者の行動歴から濃厚接触が疑われる人についての保健所への情報提供では、本人の同意が必要ですか。

- ① 必要である ② 必要ない

	回答数	比率
① 必要である	259	63.6%
② 必要ない	141	34.6%
無回答	7	1.7%

(Q8) 職員が感染、または濃厚接触の場合に、院内で職員名を公表しても良いですか。

- ① 公表してよい ② 公表してはいけない

	回答数	比率
① 公表してよい	90	22.1%
② 公表してはいけない	311	76.4%
無回答	6	1.5%

(Q9) 職員から、感染、または濃厚接触した職員名を教えてくださいとの要請にはどのように対応しますか。

- ① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	71	17.4%
② 回答できない、と答える	262	64.4%
③ その他	70	17.2%
無回答	4	1.0%

- ③ の場合 (具体的にご記入ください)

1・理由による
2・濃厚接触者を特定する必要があることから、陽性者の発生(日時・部署・感染ルート)の情報は伝え、自覚症状が出た場合に即座に出勤停止し、検査を実施する。
3・広報している
4・臨機応変に対応
5・院長と相談のうえ考える。
6・状況に応じて(関係箇所かどうかを確認)
7・当該部署など関係ある場合のみ
8・陽性者、濃厚接触者が発生した部署は調査の為教える
9・当該部署に限る
10・本人には伝えるが職員に伝える場合は部署の責任者までには伝える。
11・関連部署には知らせて対策をとる
12・同意があり、必要時回答することもある。
13・同じ部署の人には伝える
14・本人の同意を確認後対応
15・管理職および委員会等の担当者間では会議などで情報共有している。
16・感染の場合は教えるが濃厚接触の場合は回答しない
17・感染担当医師とICNも含め。院内の適切な会議で話し合う
18・感染委員会の判断に委ねる
19・出停になるのでわかってしまう

20・関係部署、濃厚接触疑い者に対して公表することはあるが、あえて全体に個人名などは周知しない。
21・感染委からの通知として部署と人数のみで院内周知
22・同じ病棟等濃厚接触が疑われる場合
23・接触の可能性が高い人だけ回答する
24・濃厚接触者等の洗い出しに必要な部署や職員には通知
25・病院として感染管理担当者が濃厚接触者等の選定を行うので、それを待ってもらう
26・当院の運営会議で情報公開について審議を行った上で、本人の了解を得て対応を行います。
27・隠すものではないが、一職員からの問い合わせには回答せず各責任者経由で情報管理を行う
28・通常回答しないが、回答を希望する職員に感染のリスクがある場合は感染拡大防止のため、守秘義務厳守のもと回答する。

(Q10) 外部から、感染、または濃厚接触した職員名を教えてほしいとの要請にはどのように対応しますか。

- ① 知らせる ② 回答できない、と答える ③ その他

	回答数	比率
① 知らせる	5	1.2%
② 回答できない、と答える	378	92.9%
③ その他	22	5.4%
無回答	2	0.5%

- ③ の場合 (具体的にご記入ください)

1・基本的には回答できない(行政・一部関係機関については除く)
2・要請先、接触背景による
3・ケースバイケース
4・行政関係者には伝える
5・外部の内容による
6・目的を聞き必要であれば知らせる。
7・保健所やコロナ対策科等の特定の部署へのみ伝える。
8・外部の必要性、重要性、緊急性による。
9・本人に対応してもらう
10・保健所など、公的機関には回答する
11・法的義務ある場合は応じる
12・回答しない
13・保健所には回答する。その他からは回答できない、と答える。
14・外部の個別具体名により異なる為1、2の場合もある。
15・感染、または濃厚接触した職員と接触した可能性が高い場合には教えるが、その前に本人の
16 承諾を得る。
17・行政機関等の必要な団体・組織への要請には回答する。
18・公立病院として、市役所への報告義務がある
19・なぜ氏名が必要か確認し、業務上必要な場合は知らせる
20・理由により判断する
21・職員本人に確認後、本人の同意が得られた場合は知らせる。
22・回答しないが、なぜ知りたいのかを聞く
23・保健所には知らせる。
24・依頼元により対応は変わる

(Q11) 職員から毎日の健康情報（体温、自覚症状の有無等）の提出を求めても良いですか。

- ① よい ② 状況により許容される ③ 許容されない

	回答数	比率
① よい	373	91.6%
② 状況により許容される	33	8.1%
③ 許容されない	1	0.2%
無回答	0	0.0%

② の場合（具体的にご記入ください）

1・感染拡大期には已む得ない 院内感染を防止する上では必要
2・提出基準あり
3・管理上必要なスタッフ
4・発熱のある場合は提出を求める 当院では全職員に毎日検温をするよう求めている
5・体温測定のみ確認している。
6・すでに感染が施設内で流行している場合。
7・感染者が出た場合
8・感染対策上、必要な範囲で可。（強制ではない）
9・同じ部署の場合、所属長が管理
10・濃厚接触、または自覚症状があった場合は報告を求めている。
11・部門の判断でありスタッフに説明していればよいのではないか
12・コロナ専用病棟や、陽性者が発生した職場で勤務する職員
13・院内で感染した職員がでた場合は、通常と違う体調の時、申し出てもらう。
14・感染拡大防止のため個人情報の管理をしたうえで求める
15・保健所に報告するレベル。院内にクラスターが発生し、陽性となった職員の行動範囲に周知する必要がある為。
16・院内でクラスターが発生した場合、当該部署に従事する職員のみ
17・院内の感染状況により
18・自宅療養中の経過観察として、認められると考える
19・医療機関としての感染対策上、必要である。
20・病院運営上必要な場合、患者との接触等があるケース
21・提出は求めないものの、詳しい聞き取りは行う（スタッフには「答えられるように」という事を事前に伝えてある）
22・各部署内で管理している
23・感染拡大、院内感染リスクのある場合、やむを得ない
24・利用目的を明確にしたうえで可能

(Q12) 職員の同居家族の体調不良、海外からの帰国など、感染のリスクが伺われる事項について報告を求めても良いですか。

- ① よい ② 状況により許容される ③ 許容されない

	回答数	比率
① よい	353	86.7%
② 状況により許容される	48	11.8%
③ 許容されない	6	1.5%
無回答	0	0.0%

② の場合 (具体的にご記入ください)

1・感染拡大期には已む得ない 院内感染を防止する上では必要
2・職員が陽性になったなど、なんらかの確認する理由がある場合に限られるのではないかと思う。
3・休暇を取る場合
4・家族がPCR検査を受け、陽性となった際や、職員がPCR検査お受け、陽性となった際にもとめる
5・陽性患者対象の職員であったり病院が何かしらの理由で必要と思った場合や職員の同意があれば
6・職員に有症状がある場合など感染対策上、必要な範囲で可。
7・所属長が把握しておく
8・感染の疑いのある患者等と接触する業務に従事
9・病院としてのリスクヘッジのための報告(就業制限を検討する必要があるため)
10・職員本人の勤務に係わる場合
11・感染拡大防止のため個人情報の管理をしたうえで求める
12・同居家族が感染者及び濃厚接触者となった場合
13・感染や濃厚接触が疑われる場合。
14・院内でクラスターが発生した場合、当該部署に従事する職員のみ
15・職員の同居家族が体調不良の場合
16・感染リスクが伺われるケースのプライベートにおける感染対策のルールを設けているので
17・医療機関としての感染対策上、必要である。
18・職員の健康観察を行う必要がある場合に、必要な範囲で許容される。
19・病院運営上必要な場合、患者との接触等があるケース
20・陽性者となった場合、その者からの報告を求めるのは良い
21・感染拡大防止の観点から上記の情報について報告を求めることは許容されると考える
22・周囲で感染流行があり、院内感染防止の観点から感染が疑われる状況にある場合、報告を求めても良いと考えます
23・情報を求めている。家族がPCR検査を受けた場合や陽性者の場合のみ報告義務あり
24・感染リスクが明らかな場合。濃厚接触者となる場合。
25・同居家族に感染者や濃厚接触者が発生した場合
26・利用目的を明確にしたうえで可能
27・院内感染防止の措置として必要
28・求めているはないが、職員から自発的な報告相談が日々あります。

(Q13) 職員の同居家族の健康情報（体温、自覚症状の有無等）の提出を求めても良いですか。

- ① よい ② 状況により許容される ③ 許容されない

	回答数	比率
① よい	212	52.1%
② 状況により許容される	142	34.9%
③ 許容されない	49	12.0%
無回答	4	1.0%

② の場合（具体的にご記入ください）

1・感染リスクが無い一般的な生活を送っている職員に対して提出を求めるのは行き過ぎだと思う。
2・コロナ感染が疑われる症状等がある場合
3・職員及びその家族に感染の疑いがあると判断した場合。
4・感染が疑われる場合。
5・コロナ感染の疑いがある期間のみ
6・職員が感染確認とれた場合まで
7・感染状況を把握するため
8・発熱等の症状が出た場合
9・濃厚接触者の場合
10・陽性者が同居していれば
11・家族が濃厚接触者と判断され自宅待機している場合
12・感染を広げる可能性のある場合
13・新型コロナに感染した場合
14・濃厚接触・感染の疑いがある場合
15・体調不良がある場合のみその中で感染が疑われる等
16・調査が必要な場合
17・職員に問題が無ければ必要ないが家族が体調不良であれば報告は一定程度必要
18・同居家族が陽性又は濃厚接触者の場合のみ
19・対策上必要であり、同意の上で許容される。
20・感染リスクが考えられる場合
21・職員に有症状がある場合など感染対策上、必要な範囲で可。
22・所属長が把握しておく
23・感染または濃厚接触者である場合許容
24・職員の自主的申告による。
25・通常はそこまで実施していない、聞き取りのみ必要時に行う
26・濃厚接触者・接触者となった場合は許容される。聞き取りで可。
27・同居家族が自覚症状等がある場合は、許容される
28・職員の同居家族が陽性、もしくは濃厚接触者になった場合。院内設置の職員用保育園の利用園児等。
29・家族が濃厚接触者の認定を受けているなど、職員本人の勤務や自宅待機を指示する判断材料として。
30・同居家族が濃厚接触者である場合などはその健康状態を把握しておく必要があると考えます
31・感染リスクの把握において必要な場合は許容されるが、提出まで求める必要性はない。
32・院内でクラスターが発生した場合、当該部署に従事する職員のみ

(Q14) 職員の会食、旅行について報告を求めても良いですか。

- ① よい ② 状況により許容される ③ 許容されない

	回答数	比率
① よい	197	48.4%
② 状況により許容される	155	38.1%
③ 許容されない	51	12.5%
無回答	4	1.0%

② の場合 (具体的にご記入ください)

1・感染の疑いがあり、行動履歴を確認する場合または、世間の感染フェーズによる
2・感染拡大期には提出を求めている
3・ワクチン接種済みである
4・感染が疑われる場合
5・陽性だったスタッフ
6・院内で取り決めているステージ分類の程度による。
7・行政のルールに従い許容
8・報告せず旅行に行く場合までは把握できない。
9・感染状況を把握するため
10・発熱等の症状が出た場合
11・緊急事態宣言下
12・感染を広げる可能性のある場合
13・職員がPCR検査を受け、陽性となった際
14・会食は常識の範囲、県をまたぐ外出は内容を聞き帰宅後の健康状態を把握し数日間の休み等を取り入れている。
15・本人より発熱等の症状があった場合に事後報告
16・感染が拡大している状況では、必要と思う。言わないこともあるが、強制は出来ないと思う。
17・医療従事者の心構えとして事前に県外旅行や大人数の会食について上司への報告を義務付けているため
18・感染または濃厚接触者である場合許容
19・集まっていた人数・状況・時間などを必要あれば聞く
20・感染のリスクがる行動について
21・県外の方との会食や、県外等への旅行の場合
22・緊急事態宣言など感染拡大期に限る
23・陽性者がでた場合に行動履歴を確認することがある
24・濃厚接触または優勝上であれば
25・陽性が判明した社員に対しては、濃厚接触者の特定に必要な情報であるため。
26・陽性者が発生した場合、どこで感染したかを知る必要がある
27・事前には感染流行地域への出張の必要性、旅行について。また職員もしくは職員の同居家族が陽性、もしくは濃厚接触者になった場合など。
28・後日感染が疑われた場合
29・感染流行地域への旅行や大人数での会食等、感染リスクが高いと想定される場合は、報告を求めても構わない
30・行き先、会食人数によって
31・本人が陽性または濃厚接触者であった場合、その行動歴として報告を求めるのはやむを得ない。
32・感染した可能性が高い場合は、職員から自主的に報告される。
33・発熱等のコロナを疑う症状が出た場合
34・体調不良があった場合は、感染の可能性・リスクを把握する為確認している。
35・症状がある場合は具体的な報告を求めている
36・必要であると判断した場合に感染拡大防止のため個人情報の管理をしたうえで求める
37・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の適用期間などは、慎重に対応する必要あり(会食は難しくても、感染地域への往来は報告)
38・同席者・同行者が濃厚接触者の認定を受けているなど、職員本人の勤務や自宅待機を指示する判断材料として。
39・COVID-19に罹患した場合は、行動範囲を確認するためにも許容されると考えます。
40・院内でクラスターが発生した場合、当該部署に従事する職員のみ
41・職員の自覚を促す意味を含めて報告を求めたいと思う。感染拡大の入口になる恐れもあるため。
42・職場単位での会食については緊急事態宣言に従って行動するようお願いしている。規定により道外旅行については私事旅行願を提出してもらおう事となっている。
43・規定により私事旅行願を提出してもらおう事となっている。

44・会食に関し病院では原則禁止の為報告を求めるのは良いが、旅行規制はしていないので状況による
45・主に慶弔、介護等、やむを得ない場合は、事前に所属長に相談してもらっている(勤務調整の必要もある事から)
46・流行ステージが高い場合、院内感染防止の観点から報告を求めてもいいと考えます。
47・県外に出る用事等がある場合は、行先や行動予定などの相談を上司にしてもらうようにしています。
48・感染流行地域との往来については報告を求めて良いと考えます。
49・感染リスクの高い状況である場合、ヒアリングは可能
50・結婚式や旅行については報告を求める
51・何らかの規制を受けている地域での会食・旅行については報告は必要と思われます。

(Q15) 職員の同居家族の会食、旅行について報告を求めても良いですか。

- ① よい ② 状況により許容される ③ 許容されない

	回答数	比率
① よい	131	32.2%
② 状況により許容される	154	37.8%
③ 許容されない	117	28.7%
無回答	5	1.2%

② の場合 (具体的にご記入ください)

1・感染の疑いがあり、行動履歴を確認する場合
2・感染拡大期には提出を求めている。
3・その時の感染状況(リスクの多寡)による
4・ワクチン接種済みである
5・感染流行地域へ行く場合には、報告を求めている
6・感染が疑われ、休暇を取る場合
7・職員及びその家族に感染の疑いがあると判断した場合。
8・現実的にすべての把握は困難なので当院では実施しない。
9・周辺地域の感染状況により)
10・対策上必要であり、同意の上で許容される。
11・職員会議等に職員全体で取り込みを行うとした場合
12・感染が拡大している状況では、必要と思う。言わないこともあるが、強制は出来ないと思う。
13・集まっていた人数・状況・時間などを必要あれば聞く
14・同居家族の感染リスクに応じて
15・本人の感染に関わるものは本人から報告してもらっている
16・必要であると判断した場合に感染拡大防止のため個人情報の管理をしたうえで求める
17・同席者・同行者が濃厚接触者の認定を受けているなど、職員本人の勤務や自宅待機を指示する判断材料として。
18・感染リスクが高いと職員が判断した場合は報告を求める。職員に行動指針を示して、家族の方に協力を求める。また、判断に迷う際は相談するよう求める
19・全ての行動について報告は必要ではないが、職員の同居家族について新型コロナウイルス感染が疑われる症状があった場合には、会食や旅行をしたかどうかなども含めた行動履歴について聞くことは問題ないとする
20・本人及び家族が納得して同意した場合に限る。
21・何らかの規制を受けている地域での会食・旅行については報告は必要と思われます。

(Q16) 外来及び入院患者に対して、以下の事項について情報提供を求めていますか。

①健康情報（体温、自覚症状の有無等）

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	401	98.5%
② いいえ	2	0.5%
無回答	4	1.0%

②家族など身近に体調不良者の有無

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	335	82.3%
② いいえ	66	16.2%
無回答	6	1.5%

③最近の会食、旅行など

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	290	71.3%
② いいえ	110	27.0%
無回答	7	1.7%

④ワクチン接種歴

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	319	78.4%
② いいえ	82	20.1%
無回答	6	1.5%

⑤新型コロナ感染の既往

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	287	70.5%
② いいえ	114	28.0%
無回答	6	1.5%

⑥近隣のクラスター発生した医療機関の受診歴

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	165	40.5%
② いいえ	233	57.2%
無回答	9	2.2%

(Q17) 院外からの訪問者に対して、以下の事項について情報提供を求めていますか。

①健康情報（体温、自覚症状の有無等）

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	392	96.3%
② いいえ	14	3.4%
無回答	1	0.2%

②家族など身近に体調不良者の有無

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	201	49.4%
② いいえ	205	50.4%
無回答	1	0.2%

③最近の会食、旅行など

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	165	40.5%
② いいえ	240	59.0%
無回答	2	0.5%

④ワクチン接種歴

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	150	36.9%
② いいえ	254	62.4%
無回答	3	0.7%

⑤新型コロナ感染の既往

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	137	33.7%
② いいえ	268	65.8%
無回答	2	0.5%

⑥近隣のクラスター発生した医療機関の受診歴

① はい ② いいえ

	回答数	比率
① はい	90	22.1%
② いいえ	315	77.4%
無回答	2	0.5%

## 2. 人権との関わり

## 〈検査〉

(Q18) 以下のそれぞれの場合について、PCR・抗原検査を受けるように職員に求める  
(職場で検査、あるいは、他医療機関で実施) ことをどのようにお考えですか。

## Q18-1 感染者発生

①患者あるいは職員にPCR・抗原検査陽性者が出た場合で、濃厚接触者の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	403	99.0%
② 悪い	4	1.0%
無回答	0	0.0%

②患者あるいは職員にPCR・抗原検査陽性者が出た場合で、接触者の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	387	95.1%
② 悪い	17	4.2%
無回答	3	0.7%

③患者あるいは職員にPCR・抗原検査陽性者が出た場合で、接触の有無が不明の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	329	80.8%
② 悪い	74	18.2%
無回答	4	1.0%

## Q18-2 クラスター発生

④患者あるいは職員にクラスターが発生した場合で、濃厚接触者の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	403	99.0%
② 悪い	2	0.5%
無回答	2	0.5%

⑤患者あるいは職員にクラスターが発生した場合で、接触者の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	398	97.8%
② 悪い	6	1.5%
無回答	3	0.7%

⑥患者あるいは職員にクラスターが発生した場合で、接触の有無が不明の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	373	91.6%
② 悪い	30	7.4%
無回答	4	1.0%

## Q18-3感染者発生に関係なく

⑦職員の家族にPCR・抗原検査陽性者が出た場合で、濃厚接触者の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	393	96.6%
② 悪い	12	2.9%
無回答	2	0.5%

⑧職員の家族にPCR・抗原検査陽性者が出た場合で、接触者の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	379	93.1%
② 悪い	25	6.1%
無回答	3	0.7%

⑨職員の家族にPCR・抗原検査陽性者が出た場合で、接触の有無が不明の場合

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	333	81.8%
② 悪い	67	16.5%
無回答	7	1.7%

(Q19) PCR・抗原検査を受けることを望まない職員に、医療従事者として必要だからと、検査を指示することをどのように考えますか。

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	336	82.6%
② 悪い	64	15.7%
無回答	7	1.7%

(Q19-2) PCR・抗原検査を受けることを望まない職員に、どのように対処していますか。

① 何もしていない ② 検査を勧めている

	回答数	比率
① 何もしていない	64	15.7%
② 検査を勧めている	338	83.0%
無回答	5	1.2%

## ② の場合 (具体的にご記入ください)

1・そのようなケースはなかった
2・自分自身、家族、患者、同僚を守るためにも検査を受けて欲しいと説得する。
3・必要であれば職務命令として検査させる
4・協力をお願いしている。
5・そのような事例はありません。
6・院内感染拡大予防に必要であると説明
7・なぜ必要かを説明し、できる限り受けてもらう。どうしても拒否すれば認めるが、自宅待機を 求めることもある
8・院内感染・クラスターなどに発展する恐れがあるため
9・患者さまや自身のご家族さまにも、お互いに感染する場合がある事を説明する。
10・必ずしてもらう
11・院内の簡易キットでの検査をすすめている
12・今の所、そのような職員はいない
13・検査の結果、陰性の場合は出勤を認めている。
14・半強制的に受けてもらう
15・今まで望まない職員はいなかったが、必要であることを繰り返す。
16・検査を拒否する職員はいません
17・医療施設内での感染対策上、必要となる
18・濃厚接触者で検査拒否者は、一定期間の出勤停止処置
19・該当する場合に、検査を望まない職員は現在のところいません。望まない場合、業務調整が 必要になる場合があると考えます。
20・現在までに検査を望まない職員はいません
21・感染拡大防止と、スタッフ自身の健康のため、必要であることこそ説明し理解を得られる よう務める
22・医療人の義務を考える
23・検査を拒否する職員はいませんが勤めるが強制はしない
24・職場に不利益をもたらす事の理解をしてもらっている
25・今後そのようなケースがあれば職員の性質上、感染の早期発見が必要である旨を説明する。
26・妊活中など理由が明確な者が多く新たな情報のエビデンスなど状況の変化により検討するよう 勤めている。
27・濃厚接触者の場合、14日間の自宅での経過観察とするかPCR抗原検査をして陰性確認後、 出勤かを選択してもらう
28・必要性を話し、検査を勧めてはみても断る場合、病院からの指示として検査を受けてもらう。
29・新型コロナウイルス感染拡大防止、および業務従事のためには感染の有無の確認が必要で ありことを説明している。
30・受けない理由を院長が直接膨張し医療機関であり入院患者さんを感染から守る為には、 必要な検査であることを説明しそれでも拒否の場合には、2週間自宅待機を指示する。
31・感染担当医師・ICN・所属長が状況を確認しながら医療従事者の責務として必要性を説明する
32・可能な限り検査を受けるよう勧める
33・望まない職員はいないと思うが、仮に望まないとしたらその理由を確認し不安があるのなら その不安を解消出来るよう対処して検査を勧める。
34・抗原検査かPCRの結果をうけて勤務してもらっている
35・理由を伺い内容によって精査、濃厚接触等の必須の場合は検査を勧めて良いと考える。
36・現在は検査を勧めて検査を拒む方はおらず自ら進んで受けようとの意識はあるが今後は わからない。
37・医療・介護従事者としての立場の理解を促す。
38・受けたくない理由の確認。職場や家族への感染リスクの説明。その後の対応の説明。濃厚接触の 場合は、まず、自宅待機を要請する。
39・検査を受けなければ勤務が出来ない場合勧める。家族を含め無料で行う体制にしている
40・健康状態把握につとめる
41・検査するまで出勤をしないようお願いする
42・医療職として検査を望まない職員は考えづらい
43・強制しないが推奨する
44・院内規定としている。望まないという選択肢はありません
45・院内規程として職員を守る為にマニュアル化され、周知されているので職員で検査を拒否した ものは今のところいない。
46・個人の倫理観の問題ではない。病院組織、全職員の安全に関わることであることを理解させる。
47・感染を疑う場合は14日間の自宅隔離を命じている

## 〈ワクチン接種〉

(Q20) ワクチン接種を望まない職員に、医療従事者として必要だからと、接種を指示することをどのように考えますか。

- ① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	93	22.9%
② 悪い	308	75.7%
無回答	6	1.5%

(Q20-2) ワクチン接種を望まない職員に、医療従事者として必要だからと、接種を推奨することをどのように考えますか。

- ① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	333	81.8%
② 悪い	71	17.4%
無回答	3	0.7%

(Q21) ワクチン接種を望まない職員に、その理由を聞いて良いですか。

- ① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	287	70.5%
② 悪い	116	28.5%
無回答	4	1.0%

(Q22) 職員がワクチン接種を望まない理由として、以下のうち適切であると思うものはどれですか。

①副反応が怖いから

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	240	59.0%
②不適切である	157	38.6%
無回答	10	2.5%

②ポリエチレングリコールにアレルギーがある

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	379	93.1%
②不適切である	19	4.7%
無回答	9	2.2%

③その他のアレルギーがある

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	317	77.9%
②不適切である	79	19.4%
無回答	11	2.7%

④インフルエンザワクチンでアナフィラキシー起こした

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	327	80.3%
②不適切である	69	17.0%
無回答	11	2.7%

⑤妊娠中・妊娠予定

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	253	62.2%
②不適切である	141	34.6%
無回答	13	3.2%

⑥基礎疾患があるから

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	217	53.3%
②不適切である	178	43.7%
無回答	12	2.9%

⑦家族と相談して

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	227	55.8%
②不適切である	165	40.5%
無回答	15	3.7%

⑧主治医と相談した

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	385	94.6%
②不適切である	11	2.7%
無回答	11	2.7%

## ⑨長期の影響が判明していない

①適切である ②不適切である

	回答数	比率
①適切である	243	59.7%
②不適切である	151	37.1%
無回答	13	3.2%

(Q23) ワクチン接種を望まない職員に、どのように対処していますか。

① 何もしていない ② 接種を勧めている

	回答数	比率
① 何もしていない	190	46.7%
②不適切である	213	52.3%
無回答	4	1.0%

② の場合 (具体的にご記入ください)

1・患者のための接種でもある
2・ワクチンの効果を説明している。
3・副反応の発言と接種することの優位性について説明
4・機会を見つけて勧奨するが、「接種しない」と決めた者で翻意しない者はいる。そこまで 意思が固い者は、感染対策の徹底をお願いする。
5・理由はスタッフによってちがうが接種は大切、理解してもらうよう努力
6・理由がアレルギーである場合は強要はしない。
7・強制はしないが、考え方が変わってくることも考え、繰り返し希望をきいていく。
8・勧めているが、決定は自己判断である事を伝えている。
9・接種しないのは自己責任であるが、それによる社会的不利益も許容すべきと説明します。
10・厚生労働省よりはびょうざされているワクチンに関する説明資料を配布している。
11・メリット。デメリットを伝えた上で最終判断は当人
12・本人の意思の為、勧めてみるが深くまでは。
13・何が理由か聞いて、クリアになるものであれば説明する。
14・厚生労働省のワクチンに対するQandA等、正しい知見を提供します。
15・個人の名指しはせず、職員全体へのアナウンスとして推奨している。
16・ワクチン接種が追い付いていない世代の感染拡大が生じていることから、ワクチンの 有用性は顕著である。医療従事者は患者・市民に移さないことが第一であり、身体的な 事情で接種を望まないことは別として、格段の事情がないのであれば接種を受ける べきである。接種しない人には、より厳密な感染対策（県境をまたぐ行動や会食は 「控える」ではなく「しない」等）を払うことをお願いする。
17・未知のワクチンの為、周囲の状況を見て勧めてみる。ワクチンの有効性や副反応に各人の 考え方は異なるので、時間を要する。
18・院長名での全体メール、文書の送信
19・ワクチンについて説明VTR視聴
20・変異株の性質、コロナ感染後の後遺症、病院内での勤務場所変更の可能性などについて説明
21・ワクチン接種の情報を基に、女性が多いので婦人科学会で推奨している内容も含め情報共有する

(Q24) ワクチン未接種を理由に、職員に以下の処遇をすることは可能といますか。

## ①解雇

①可能である                      ②不可能である

	回答数	比率
①可能である	0	0.0%
②不可能である	405	99.5%
無回答	2	0.5%

## ②ボーナス査定など金銭面での不利益

①可能である                      ②不可能である

	回答数	比率
①可能である	4	1.0%
②不可能である	400	98.3%
無回答	3	0.7%

## ③患者に直接接する部署からの配置転換

①可能である                      ②不可能である

	回答数	比率
①可能である	110	27.0%
②不可能である	291	71.5%
無回答	6	1.5%

## ④その他の具体的処遇があれば教えてください。

1・患者に直接接する部署からの配置転換の答えは場所による。コロナ病棟は接種しているスタッフ
2・医療従業者として人一倍感染対策に留意させる。
3・規定する事等、裏付けが必要
4・ワクチンの接種。未接種は重症化するのかどうかであって感染予防にはあまり関係がないと判断する。それよりも標準的予防策を常日頃から徹底しているかでおうかが重要。接種者と未接種で別の処遇をするのは慎むべき。
5・コロナ感染者への対応は控えてもらう
6・職員に感染症状がでたときPCRを受けないという者がもしいたら事業者都合で出勤停止とする。(感染症状が治るまで)
7・より感染しやすい人(つまりハイリスク者)として1感染防御を徹底してもらう。2他の職員に知ってもらう。
8・感染対策を十分行わせる。
9・未接種の職員本人から配置転換の希望があれば検討は必要。応えられるかは別。
10・濃厚接触者に該当した場合で、ワクチン未接種者の方は復帰時にPCR検査で陰性確認をしてもらう。
11・原則(Q24)①～③については不可能と考えるが、患者に直接接する部署からの配置転換にあつては素行等によっては配置転換は必要である。
12・いかなる場合もワクチン未接種を理由に処遇することは不可能
13・感染リスクが高い部署に該当する場合は休業を指示
14・標準予防策の徹底
15・十分に説明して本人の同意があれば、感染リスクの少ない職場への移動も検討する。
16・患者に直接接する部署からの配置転換においては本人の同意が必要
17・患者に直接接する部署からの配置転換の配置転換は、職員と相談した上で実施可能と考える
18・人事評価で職務意識についての評価
19・そんなことを理由に配置転換するほど人員に余裕はない

(Q25) 新型コロナのワクチン接種、既感染者を基準に、以下の職場配置を決めることは可能と思いますか。

## ① コロナ病棟

① 可能である                      ② 不可能である

	回答数	比率
①可能である	183	45.0%
②不可能である	209	51.4%
無回答	15	3.7%

## ② 発熱外来

① 可能である                      ② 不可能である

	回答数	比率
①可能である	180	44.2%
②不可能である	217	53.3%
無回答	10	2.5%

## ③ 救急外来

① 可能である                      ② 不可能である

	回答数	比率
①可能である	160	39.3%
②不可能である	236	58.0%
無回答	11	2.7%

## ④ ICU/HCU

① 可能である                      ② 不可能である

	回答数	比率
①可能である	154	37.8%
②不可能である	236	58.0%
無回答	17	4.2%

(Q26) 職員の会食、旅行を制限することは良いと思いますか。

- ① 状況により、一定の制限を課すことは許される                      ② 注意喚起としては許される  
③ 許容されない

	回答数	比率
① 状況により、一定の制限を課すことは許される	165	40.5%
② 注意喚起としては許される	238	58.5%
③ 許容されない	4	1.0%
無回答	0	0.0%

## ① の場合 (具体的にご記入ください)

1・世間の感染フェーズや宣言等の状況に応じて職員の行動指針として
2・感染拡大期には、院内感染防止のためには已む得ない
3・会食禁止を指示している。
4・緊急事態宣言中などであれば。
5・会食は4名以下
6・制限についての理由を付けて文章で指導している
7・制限はしていないが願いはしている
8・職員間の会食は禁止。県外への旅行はすべて事前報告させている。
9・感染レベルに対応している院内規定に則る
10・行政ルールに従い
11・感染状況を鑑み判断(まん防、緊急事態等)
12・医療従事者の責任
13・感染流行期には制限もやむを得ない
14・歓送迎会、忘年会など
15・少人数の会食、旅行等県外移動時は届出制
16・緊急事態宣言下
17・県の指示に合わせて宣言することは必要と考える。
18・集まる人数・延べ時間などの制限は良いと考える。
19・市中に感染が多い状況では許容しにくい
20・ワクチン接種をしていない不特定多数との会食をしたあとには有給休暇で自宅隔離14日間。
21・国や県が示す指針に基づいた制限は可能。ただし、制限に違反した場合の罰則は不可又は十分な配慮の上で口頭注意程度。
22・職員同士の食事は2名まででお願いしている
23・院内フェーズ表に基づき判断している
24・冠婚葬祭のみ可(少数で感染対策を取る)
25・医療従事者として、一般の人とはリスクが違うので
26・マスクを外して長時間話すことは制限。感染者数が増加している地域への移動は制限。
27・要請文書を通達している。ただし、違反した場合の罰則や不利益は明記していない
28・コロナ感染状況に応じて病院の指針を修正し示している
29・国および県内にて新型コロナウイルスの感染状況が悪化した場合には、職員に対して県境をまたぐような移動が必要となる場合に申請書の提出を求めている
30・全ての可能性があるイベントは当面中止。
31・職員行動規範で制限している。抵触したら自宅隔離を命じている



(Q28) 外来及び入院患者に対して、状況に応じて、対応を変えて良いですか。

(Q28-1) 健康情報（体温、自覚症状の有無等）

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	316	77.6%
② 悪い	87	21.4%
無回答	4	1.0%

① の場合（具体的にご記入ください）

1・他患者との導線を分ける、個室に隔離するなど
2・感染の拡大状況によって変更することはありうる
3・防御服の着衣
4・入院時に発熱・有症状の患者は、個室管理にしている。
5・発熱外来受診に切り替える
6・発熱・風邪症状あるや濃厚接触者の可能性が高いなどあれば対応を変える
7・転院間もない場合や家族面談等外部との接触後の体調変化は、疑ってかかる。
8・37.5度以上の発熱がある場合、外来・入院はお断り。
9・PCR検査結果が出るまでは個室、陰圧室管理をする。他の患者を接触しないよう通路をかえる
10・県外からの受診者等は特に情報を聞き取りトリアージ外来後に一次外来へ移行する
11・トリアージする
12・入り口での検温、問診
13・入室（入館禁止）
14・PCR検査をすすめる
15・準隔離対応
16・問診の内容を院内感染対策委員会等で検討しながら対応している。
17・発熱があり、COVID-19感染が否定出来ない方は、自家用車の方は車の中で待機、 その他の方は別室で待機してもらい外科担当医と対応を相談する。
18・外来については院外より入退院できる診察室で対応する。入院患者は入院時PCR検査を実施中。
19・地域の感染状況等によっては、より詳細な対応は必要と思う
20・テント対応など
21・感染リスクが考えられるときには空間的隔離・防護具使用等の対策追加を検討
22・PPE装着での対応等
23・例) 認知症の方の場合には、自覚症状よりも身の回りの方の申告が有効である。 例) 当院は平熱+1℃も発熱としている。又、高齢者の場合には37.0℃を判断基準とし、 発熱外来対応や立ち入りの可否を検討している。
24・帰国者接触者外来で先ずは対応しています。
25・自覚症状がある場合感染の可能性がある為、産婦人科がメインなので他妊婦との接触を 無くし時間帯や場所を分けて診察を行うので

## (Q28-2) 家族など身近に体調不良者の有無

- ① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	253	62.2%
② 悪い	150	36.9%
無回答	4	1.0%

## ① の場合 (具体的にご記入ください)

1・他患者との導線を分ける、個室に隔離するなど
2・感染疑いとして接する
3・家族との接触程度が高ければ、上記と同様の対応をしている。
4・PCR検査を受けてもらう等の確認を行う
5・検査を受ける
6・外部からの持込みを疑う。
7・受診してもらう
8・専門医に診察することをすすめている
9・リスクをさける
10・体調悪い方はいるか聞く。
11・抗原・PCR検査陽性であれば転院。
12・患者自身に症状がある場合は来院時間を変更
13・感染状況を鑑み判断
14・状況におうじた検査の実施、個室対硫黄などの距離をあける
15・PCR検査実施
16・発熱のある患者は院内へ立入りできない等
17・患者の体調不良を確認し院内の感染防止
18・PCR検査の実施
19・入り口での検温、問診
20・当院では有症状の場合、動線を考えた感染外来へ誘導している。
21・定期受診であっても発熱当の症状がある場合は先に発熱外来を受診していただく。
22・設問の意味がわかりません
23・37℃以上の場合、動線を分ける。
24・必要に応じて隔離、PCR検査
25・通常の診察の流れとは別に、車中診察や発熱者用の診察室で対応している。
26・外来の場合は、正面玄関(入口)で、検温やコロナに関する確認事項で該当した場合は別室にて対応している。
27・院内ルールの下ならば良いのではないかと
28・必要に応じてPCR検査等を行い、陽性であれば専門病院を紹介する。
29・入院患者の面会制限
30・感染リスクが考えられるときには空間的隔離・防護具使用等の対策追加を検討
31・タブレット端末などで診療を行うことがある
32・症状がある場合、個室での対応または入院の延期等
33・近親者から感染するリスクがあるので仕方がない。
34・入院患者は元々面会禁止。外来患者の場合は別室で対応。
35・電話再診などに変更を勧める
36・そもそも家族の状況までは把握できない
37・きちんと問診した上で必要があればPCR検査を推奨。一般との同線変更。
38・自己申告です

## (Q28-3) 最近の会食、旅行など

- ① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	185	45.5%
② 悪い	216	53.1%
無回答	6	1.5%

## ① の場合 (具体的にご記入ください)

1・県外移動は不可
2・感染機会がある場合は、疑って対応する。
3・リスクをさける
4・直近に県外へ旅行へ行っている場合、外来・入院はお断り。
5・感染状況を鑑み判断
6・県外へ往來のある人について、立入禁止
7・患者の体調不良を確認し院内の感染防止
8・感染の恐れがあるリスクを把握するため。
9・何処に行ったのか確認する。
10・感染が疑われる場合
11・接触者の中に感染者がいないか尋ねる。
12・流行地への旅行など
13・そこまで把握していない
14・県外への往來、県外の方との接触を確認している。
15・医師の判断により、検査を実施する。
16・例えば、入院患者に理由が分からない 発熱があるといった場合には検査を行う。
17・外来の場合は、正面玄関(入口)で、検温やコロナに関する確認事項で該当した場合は別室にて対応している。
18・診療の補助的情報として
19・他患者およびその患者本人の重症化を防ぐ為にも重要
20・地域の感染状況等によっては、より詳細な対応は必要と思う
21・通常外来・発熱外来の切り分けの為。通常病床・発熱病床の切り分けの為。
22・流行地域への往來があった場合に発熱患者用の対応をします。
23・防護服等の着用
24・2週間内の県外旅行
25・流行地への旅行や大人数での会食歴があれば一般外来と別で診察を行う
26・感染を疑う場合は外来・入院延期や検査を行う
27・院内ルールの下ならば良い
28・入院や検診は延期(事前に旅行等は控えるように伝えている)
29・外来…別途診察時間の設定・院内立ち入りなしでの対応 入院…一定期間の隔離
30・個室管理
31・会食をした場合、県境またぎの移動は場合によって断ることがあることを事前に伝えている
32・必要に応じてPCR検査等を行い、陽性であれば専門病院を紹介する。
33・感染リスクの判断に応じ、必要ケースは飛沫・接触予防策を追加している。
34・感染状況により対応を変える必要あり
35・感染拡大を未然に防ぐ対策として、対応するべき。
36・発熱以外の外来患者には不要
37・対応を変えたいが症状が無い限り、そこまで確認していない。
38・行動歴、生活歴の把握は重要だと思います。
39・玄関にて聞き取り調査の徹底
40・入院の場合、個室での観察期間を延ばしている。防護具を変えている。
41・病院の他の患者や医療従事者を守るため、院内で感染が発生・拡大させないために病院として必要な対応はとるべき
42・緊急事態宣言の都道府県への旅行(葬儀など除く)
43・受付時に口頭による確認を行い、立ち入りの可否や診察場所の変更を判断している
44・電話再診などに変更を勧める
45・院内に持ち込まない理由(リスクの評価)として当院では確認しています

## (Q28-4) ワクチン接種歴

① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	156	38.3%
② 悪い	245	60.2%
無回答	6	1.5%

① の場合 (具体的にご記入ください)

1・接種を勧める。マスクを外さない等対応が異なる
2・リスクをさける
3・ワクチン二回接種しているか確認。
4・感染状況を鑑み判断
5・当院では求めていませんが現在は入院患者につき一人のみの面会（コロナワクチン接種済に限る）を許可しています。
6・患者の体調不良を確認し院内の感染防止
7・診療の為なら良い
8・患者さんのワクチン接種を確認するため
9・接種をしても変わらないが、聞くことは大切と考える
10・院内で陽性者が発生した場合の参考とする。
11・質問事項でかくにんするが、回答は患者の任意とする。
12・地域の感染状況等によっては、より詳細な対応は必要と思う
13・問診の一部
14・面会の対応
15・特段ないがケアを担当するスタッフとしては心理生、安心するのではないか。
16・状況把握に必要
17・ワクチン接種を入院患者に実施しており、接種歴の確認が必要
18・必要に応じてPCR検査等を行い、陽性であれば専門病院を紹介する。
19・健康状態の確認のために必要な情報と判断した場合
20・発熱以外の外来患者には不要
21・症状が無い限り、接種歴で対応を変えていない
22・感染予防レベルを変更（引き下げ）する可能性あり
23・面会基準では一定の対応の差異を設けるべきと考える。
24・新型コロナウイルス感染症が蔓延していれば当然のことと理解している。
25・特に対応を変えていない
26・感染レベルの低い時期では、ワクチン接種を前提に一部面会制限の緩和を検討していた。
27・コロナ感染のリスクが高い場合は一般患者と分ける必要がある
28・コロナ疑いの場合、聞かざるを得ない
29・入院患者はワクチン接種歴を電子カルテに入力している
30・問診表に記入してもらう

## (Q28-5) 新型コロナ感染の既往

- ① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	149	36.6%
② 悪い	246	60.4%
無回答	12	2.9%

## ① の場合 (具体的にご記入ください)

1・いつ発症したかは大切
2・リスクをさける
3・感染状況を鑑み判断
4・患者の体調不良を確認し院内の感染防止
5・診療の為に良い
6・発症日の確認をしている。
7・期間などを考える
8・入院等していた場合は必要
9・コロナ感染者の場合は後遺症の有無を確認する
10・コロナ感染の治療歴
11・特にOPE前対象者
12・感染対策、診断上必要がある。
13・既往の確認はするが、隔離期間が終了している場合の制限はない。
14・状況に応じて(例えば本人の体調が悪い時、身近に同じ状況の人がおられないか等)
15・院内で陽性者が発生した場合の参考とする。
16・診療の補助的情報として
17・この時期、確認するのが必須
18・問診の一部
19・特に対応は変えません
20・抗体を持っている可能性があり、特に制限なく入院する場合があるため
21・院内ルールの下ならば良いのではないかと
22・発熱外来やコロナ専用病棟の患者に対する対応(確認)は必要と考えるため
23・隔離解除後、1週間経過していなければ経過するまで延期
24・入院患者は入院時に、外来患者は問診で確認
25・既往に関係なく、コロナ感染症状がある場合
26・感染後の日数と症状に応じて対応する
27・発熱以外の外来患者には不要
28・患者側からの報告の状況によって対応が必要であれば対応する。
29・退院基準を満たしていればよい
30・加療中に使用した薬剤等を把握し、当院での診療方針の参考とすることは容認される。
31・既往歴の聴取は必須だと思います。
32・感染の既往を把握しておくことは問題ないと考える。
33・感染防止対策として状況に応じた対応は必要
34・新型コロナ感染発症日から28日経過するまでは予定入院は避けている。緊急入院時は個室管理をしている。
35・玄関にて聞き取り調査の徹底
36・コロナを疑った場合、参考になり、対応が変わる可能性がある
37・かかった時期により、解除されていてもPCRが陽性の場合などは防護具を変えている
38・症状がある場合、個室での対応または入院の延期等
39・当院は治療を行う病院ではないので陰性証明が必要
40・コロナ疑いの場合、聞かざるを得ない
41・情報を収集している
42・既往症は聴取しているが対応に変更はない
43・新型コロナ感染の既往のある患者については、陰性化したのちにも再度陽性となる場合があるため、状態に応じた措置を講ずる必要がある
44・直近での既往の方に限るがきちんと保健所と連絡できているのかによる
45・問診表に記入してもらう

## (Q28-6) 近隣のクラスター発生した医療機関の受診歴

- ① よい ② 悪い

	回答数	比率
① よい	181	44.5%
② 悪い	216	53.1%
無回答	10	2.5%

## ① の場合 (具体的にご記入ください)

1・発生病棟に入院していた場合は、特別に観察する。
2・入院の有無は大切
3・受診歴により感染管理がしやすい。
4・患者自身に症状がある場合は来院時間を変更
5・濃厚接触者の疑いがある場合
6・状況によって
7・クラスター発生時に受診していたか確認が必要
8・受診願いがあり有症状の場合は動線を考えた感染外来へ誘導している。
9・当院ではなし
10・濃厚接触の可能性を判断する
11・感染リスク回避
12・クラスター発生した施設にいつ行ったかどのような状況なのか、又、感染者との接触の可能性があれば待合室を分ける。
13・クラスターが発生した部署の受診の場合は2週間空けてから受診していただく。
14・医師の判断により、検査を実施する。
15・院内で陽性者が発生した場合の参考とする。
16・外来の場合は、正面玄関(入口)で、検温やコロナに関する確認事項で該当した場合は別室にて対応している。
17・受診日、滞在時間等の確認
18・どの程度の医療や処置を受けたのか確認したい
19・クラスター発生時期や規模により対応を考慮する。
20・地域の感染状況等によっては、より詳細な対応は必要と思う
21・問診の一部
22・受診や入院を控えていただく、受診日・入院日の日程調整
23・直近で受診していた場合に制限する場合がある
24・検査の必要性を検討
25・濃厚接触等の可能性を聞き取り。可能性があればPCR検査等を検討。
26・クラスター受信時濃厚接触と判断した場合
27・入院患者は入院時に、外来患者は問診で確認
28・保健所の対応とともに、その時に受診していた場合に独自に対策するため
29・外来…別途診察時間の設定・院内立ち入りなしでの対応 入院…一定期間の隔離
30・当該機関の受診時期の確認をして状況を判断
31・濃厚接触者が不明の場合リスクがある
32・状況確認して濃厚接触者になるなら対応必要。入院の場合は数日間個室管理を考慮
33・職員、他の患者への感染を守るため必要。
34・発熱以外の外来患者には不要
35・感染の恐れがあれば聞いて良い。周囲の患者の生命を守るため。
36・患者側からの報告の状況によって対応が必要であれば対応する。
37・症状がなく、マスク等の感染対策が出来ていればよい
38・受診時期に応じて、発現している症状に対して感染予防レベルを引き上げて対応することは容認される。
39・診療場所や手術適用可否の検討
40・玄関にて聞き取り調査の徹底
41・症状がある場合、個室での対応または入院の延期等
42・(クラスターが発生した医療機関) = (流行があった場所)として問診でトリアージされるので、発熱外来対応への変更や院内の診察場所の選定を行う。
43・コロナ感染のリスクが高い場合は一般患者と分ける必要がある
44・院内への持ち込み防止のため、受診歴を聴取し、慎重に対応する。
45・ワクチン接種の有無に限らず、症状、背景により最適な対応を実施
46・具体的な問診をさせていただき、感染経路が明確なのか状況次第

<外来者（外来患者、家族など）>

（Q29）外来者に対して、下記の回答内容を理由に、院内の立ち入りを断っても良いと思いませんか。

（Q29-1）健康情報（体温、自覚症状の有無等）

- ① 立ち入りを断ってよい ② 立ち入りを断ることはできない

	回答数	比率
① 立ち入りを断ってよい	328	80.6%
② 立ち入りを断ることはできない	76	18.7%
無回答	3	0.7%

（Q29-2）家族など身近に体調不良者の有無

- ① 立ち入りを断ってよい ② 立ち入りを断ることはできない

	回答数	比率
① 立ち入りを断ってよい	239	58.7%
② 立ち入りを断ることはできない	163	40.0%
無回答	5	1.2%

（Q29-3）最近の会食、旅行など

- ① 立ち入りを断ってよい ② 立ち入りを断ることはできない

	回答数	比率
① 立ち入りを断ってよい	147	36.1%
② 立ち入りを断ることはできない	253	62.2%
無回答	7	1.7%

（Q29-4）ワクチン接種歴、新型コロナ感染の既往

- ① 立ち入りを断ってよい ② 立ち入りを断ることはできない

	回答数	比率
① 立ち入りを断ってよい	70	17.2%
② 立ち入りを断ることはできない	331	81.3%
無回答	6	1.5%







## 3. 病院属性など

(Q31) 新型コロナの受け入れ体制をお聞きます。

- ① 重点医療機関      ② 協力医療機関      ③ その他

	回答数	比率
① 重点医療機関	74	18.2%
② 協力医療機関	126	31.0%
③ その他	203	49.9%
無回答	4	1.0%

(Q32) 発熱外来を行っていますか。

- ① はい      ② いいえ

	回答数	比率
① はい	290	71.3%
② いいえ	115	28.3%
無回答	2	0.5%

(Q33) 病床数を教えてください。

0-99	床	119	病院
100-199	床	155	病院
200-299	床	55	病院
300-399	床	30	病院
400-499	床	19	病院
500-599	床	14	病院
600-699	床	3	病院
700-799	床	3	病院
800-899	床	1	病院
900-999	床	1	病院
1000-	床	3	病院
無回答		4	病院